

防衛省施設での再生可能エネルギーの調達実施の成果

防衛省・自衛隊は、日本全国の各地で施設や様々な装備品を運用しており、政府内における最大の電力需要家（政府全体の約4割）として、温室効果ガスの排出の削減等に貢献するため、電力の調達にあたり、再生可能エネルギーにより発電された電力の調達を進めているところである。

- ✓ 令和4年度は、防衛省・自衛隊施設の約30%（約290施設）で再エネ電気を導入
うち約200施設では、再エネ比率100%を達成
- ✓ 再エネ電気の調達見込量は約3.2億kWh
- ➡ 防衛省・自衛隊で使用する電気の約25%が再エネで供給される計算

年間約13億kWh（政府全体の約40%）の電力を使用する防衛省・自衛隊として、引き続き再エネ導入を進めていく

◆ 防衛省・自衛隊における再エネ導入の実績

	令和4年度
○再エネ導入施設数	291施設 (うち199施設が再エネ比率100%)
○再エネ電力調達見込量	約3.2億kWh
○再エネ比率	約25.0%
○再エネ導入見込施設における落札平均単価	約19.0円/kWh

※令和4年3月31日現在

◆ 政府全体の電力使用量（令和2年度）約30億kWh

